

随意契約見直し計画

平成 19 年 12 月
国立大学法人岐阜大学

1. 随意契約の見直し計画

(1) 平成 18 年度において、締結した随意契約について点検・見直しを行い、以下のとおり、随意契約によることが真にやむを得ないものを除き、直ちに一般競争入札等に移行するものとし、遅くとも 20 年度から全て一般競争入札等に移行することとした。

【全体】

		平成18年度実績		見直し後	
		件数	金額(百万円)	件数	金額(百万円)
事務・事業を取り止めたもの (18年度限りのものを含む。)		/		(36%) 25	(31%) 317
一般競争入札等	競争入札			/	
	企画競争	(6%) 4	(4%) 41		
随意契約		(94%) 66	(96%) 979	(56%) 39	(64%) 651
合 計		(100%) 70	(100%) 1,020	(100%) 70	(100%) 1,020

(注 1) 見直し後の随意契約は、真にやむを得ないもの

(注 2) 金額は、それぞれ四捨五入しているため合計が一致しない場合がある

【同一所管法人等】

		平成18年度実績		見直し後	
		件数	金額(百万円)	件数	金額(百万円)
事務・事業を取り止めたもの (18年度限りのものを含む。)		/		()%	()%
一般競争入札等	競争入札			()%	()%
	企画競争	()%	()%	()%	()%
随意契約		(100%)	(100%)	(50%)	(39%)
		4	41	2	16
合 計		(100%)	(100%)	(100%)	(100%)
		4	41	4	41

(注1) 見直し後の随意契約は、真にやむを得ないもの

(注2) 金額は、それぞれ四捨五入しているため合計が一致しない場合がある

【同一所管法人等以外の者】

		平成18年度実績		見直し後	
		件数	金額(百万円)	件数	金額(百万円)
事務・事業を取り止めたもの (18年度限りのものを含む。)		/		(38%)	(32%)
一般競争入札等	競争入札			(4%)	(2%)
	企画競争	(6%)	(4%)	(2%)	(1%)
		4	41	3	19
随意契約		(100%)	(96%)	(56%)	(65%)
		62	938	37	636
合 計		(100%)	(100%)	(100%)	(100%)
		66	980	66	980

(注1) 見直し後の随意契約は、真にやむを得ないもの

(注2) 金額は、それぞれ四捨五入しているため合計が一致しない場合がある

2. 随意契約見直し計画の達成へ向けた具体的取り組み及び移行時期
平成20年1月までに、以下の措置を講じ、随意契約によること
が真にやむ得ないもの以外、遅くとも平成20年度から一般競争入
札等に移行。

(1) 総合評価方式の導入拡大

- ① 情報システム、公共工事の設計業務等に加え、研究開発、調査
研究、広報業務等について、総合評価落札方式による一般競争入
札の導入を図る。
- ② 総合評価方式による一般競争入札マニュアルの作成
一般競争への移行を支援するための業務マニュアルを作成し、
仕様書の作成や予定価格の設定等の各種入札手順を具体的に示す。
(平成20年3月を目途に作成予定)
- ③ プロジェクトチームの設置
上記措置を行うため、経理課にプロジェクトチームを設置

(2) 複数年度契約の拡大

研究開発やシステム関連等の複数年度にわたる契約については、
可能な限り研究開発の全期間又はシステム等全体を競争の範囲と
する。

(3) 入札手続きの効率化

一般競争入札の拡大に伴う業務量の増加を勘案し、電子入札の拡
大や公告の方法等について検討を行う。

(注) 個別の契約の移行時期及び手順については、「随意契約の点検・
見直しの状況」に記載

随意契約見直し計画

平成 20 年 1 月
国立大学法人名古屋大学

1. 随意契約の見直し計画

(1) 平成 18 年度において、締結した随意契約について点検・見直しを行い、以下のとおり、随意契約によることが真にやむを得ないものを除き、直ちに一般競争入札等に移行するものとし、遅くとも 20 年度から全て一般競争入札等に移行することとした。

【全体】

		平成18年度実績		見直し後	
		件数	金額(百万円)	件数	金額(百万円)
事務・事業を取り止めたもの (18年度限りのものを含む。)		/		(0.8%) 2	(0.3%) 23
一般競争入札等	競争入札			/	
	企画競争	(4.3%) 11	(3.1%) 228		
随意契約		(95.7%) 246	(96.9%) 7,016	(86.8%) 223	(82.4%) 5,969
合 計		(100%) 257	(100%) 7,244	(100%) 257	(100%) 7,244

(注 1) 見直し後の随意契約は、真にやむを得ないもの

(注 2) 金額は、それぞれ四捨五入しているため合計が一致しない場合がある

【同一所管法人等】

		平成18年度実績		見直し後	
		件数	金額(百万円)	件数	金額(百万円)
事務・事業を取り止めたもの (18年度限りのものを含む。)		/		() % 0	() % 0
一般競争入札等	競争入札			/	
	企画競争	() % 0	() % 0		
随意契約		(100%) 6	(100%) 672	(66.7%) 4	(32.0%) 215
合 計		(100%) 6	(100%) 672	(100%) 6	(100%) 672

(注1) 見直し後の随意契約は、真にやむを得ないもの

(注2) 金額は、それぞれ四捨五入しているため合計が一致しない場合がある

【同一所管法人等以外の者】

		平成18年度実績		見直し後	
		件数	金額(百万円)	件数	金額(百万円)
事務・事業を取り止めたもの (18年度限りのものを含む。)		/		(0.8%) 2	(0.3%) 23
一般競争入札等	競争入札			/	
	企画競争	(4.4%) 11	(3.5%) 228		
随意契約		(95.6%) 240	(96.5%) 6,344	(87.3%) 219	(87.6%) 5,754
合 計		(100%) 251	(100%) 6,572	(100%) 251	(100%) 6,572

(注1) 見直し後の随意契約は、真にやむを得ないもの

(注2) 金額は、それぞれ四捨五入しているため合計が一致しない場合がある

2. 随意契約見直し計画の達成へ向けた具体的取り組み及び移行時期
平成20年1月までに、以下の措置を講じ、随意契約によることが真にやむ得ないもの以外、遅くとも平成20年度から一般競争入札等に移行。

(1) 総合評価落札方式の導入の検討

①情報システム等について、総合評価落札方式による一般競争入札の導入の検討を行う。

②ワーキンググループの設置

上記検討を行うため、全学的なワーキンググループを設置

(2) 入札手続きの効率化

①一般競争入札の拡大に伴う業務量の増加を勘案し、電子入札の導入や公告の方法等について検討を行う。

(3) 契約手続きの透明性の確保

①見積合せによる調達においても、一般競争入札公告に準じた方法等で行う。